

# 実用機器分析【2】 物性測定の基本

【日時】 2016/5/26 (木) 13:00-17:00

【場所】 九州大学伊都キャンパス・工学部第4講義室 (西講義棟3F)

【主催】 九州大学中央分析センター

【共催】 九州大学ナノテクノロジープラットフォーム

【協力】 株式会社島津製作所、メトラ・トレード株式会社、株式会社日立ハイテクサイエンス

### 13:00-14:00 天びんの原理と正確にひょう量するための方法

天びんの計測時における正しい測定方法と便利で役立つ機能についてご紹介します。

### 14:00-14:50 pH測定の基礎

正確なpH測定を行うためのポイントを測定原理と電極構造を含めご説明します。また、測定結果に大きく影響する校正、温度補正および電極の洗浄方法及び電極のメンテナンス法など日々の作業に活用頂ける情報もご提供します。

### 15:00-17:00 熱分析 [DSC、TGの基礎と上手な使い方]

熱分析は、試料の温度を上げる・下げる・維持する以外に共通点を持たない技法の総称です。単純な装置だけに対象物質を選ばない特徴があります。今回は、熱分析でもっとも使用されている示差走査熱量測定(DSC)と熱重量測定(TG)を取り上げ、最低限知っておけば測定ができる方法をご説明します。

中央分析センターでは2007年から毎年定期的に分析基礎セミナーを開催しています。これは機器分析の原理・基礎知識を習得してより効果的に分析機器を使用していただくことを目的とするものです。今年度は「実用」を中心に、教科書では学べない内容も提供していきます。今回は実験、研究の基礎となる物性測定に関して知識が得られる内容です。学内外どなたでもご参加できます。事前の参加登録にご協力をお願いします。

#### 【問合せ・申込先】

九州大学中央分析センター伊都分室 渡辺

Tel.092-802-2857

watanabe.midori.452@m.kyushu-u.ac.jp